

フジキオビ *Schistomitra funeralis* Butler

【選定理由】

日本特産種で、全国的に分布が局所的であるが、県内には二ヶ所しか記録がない(吉富・野中, 1995; 矢崎, 2011)。

【形態】

開張 46mm～53mm。♂の触角は櫛歯状、♀の触角は糸状。翅の地色は黒色で、前後翅に黄色又は黄白色の顕著な斑紋を持つ。腹部背面は黒色で黄色帯を有する。



三重県大杉谷狸峠, 2001年6月3日, 間野隆裕 撮影

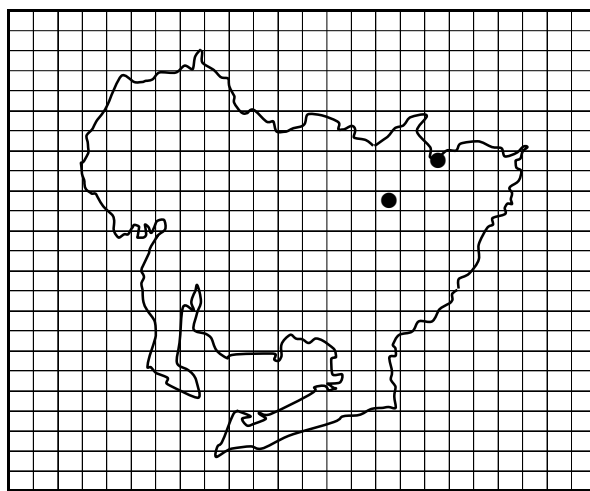
【分布の概要】

本州の関東地方以西、四国、九州に分布。垂直分布は広く、標高約 2,000m の亜高山から標高 300m 前後の山麓または丘陵まで分布する。ブナを主とする落葉広葉樹林帯と隣接する草原(湿原)で見られるが、和歌山県のように照葉樹林帯にも分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

成虫は昼行性のガで、年に1回、5～6月頃に出現する。幼虫の食樹はナツツバキ(ツバキ科)が知られている。幼虫は白蠟物質で被われ、7～8月頃老熟し、蛹態で越冬するという(杉, 1987)。本種の生息地は食樹ナツツバキ(シャラ)の自生地と重なるものと思われるが、県内にはナツツバキの自生地そのものが少ない。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

県内には設楽町裏谷及び豊田市面ノ木峠の記録のみである。隣県の静岡県、三重県、岐阜県では記録があるが、数少ない。

【保全上の留意点】

食樹ナツツバキと、周辺の生息環境を保全する必要がある。

【引用文献】

- 矢崎充彦, 2011. 愛知県豊田市で得た特記すべき蛾3種. 佳香蝶, 63 (246): 46.
吉富博之・野中 勝, 1995. フジキオビを愛知県で採集. 月刊むし, (298): 25.
杉 繁郎(編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑: 114. 講談社, 東京.

【関連文献】

- 後藤 伸, 2000. 虫たちの熊野: 130-131. 紀伊民法社, 田辺.
松村松年, 1937. 原色千種統昆虫図譜: 78, pl. 39. 三省堂, 東京.

(間野隆裕)